

## 【 目黒区 】胃がん検診（胃部エックス線検査） 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	46,521	57,553	104,074
【東京都調査による対象者率（区部）：58.7%】			
実際の受診者数	492	631	1,123

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	1.8%	1.9%	1.8%
要精検率	11%以下	11.6%	7.8%	9.4%
精検受診率	70%以上	50.9%	69.4%	59.4%
精検未把握率	10%以下	7.0%	14.3%	10.4%
精検未受診率	20%以下	42.1%	16.3%	30.2%
陽性反応適中度	1.0%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.11%以上	0.00%	0.00%	0.00%

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

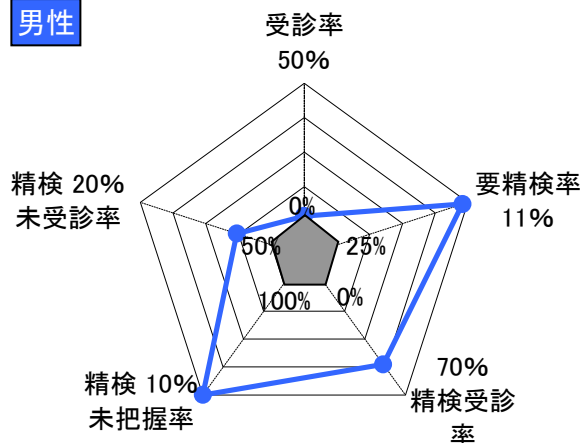
### プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」

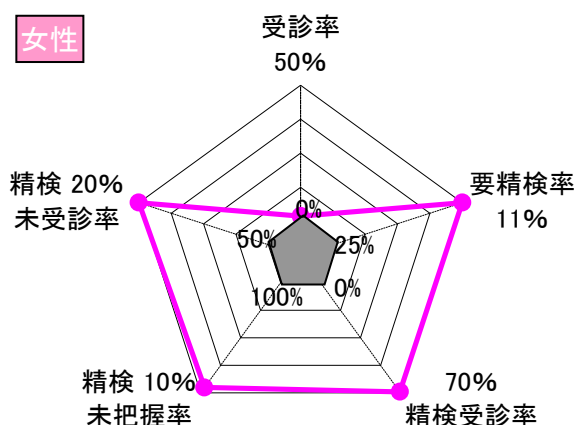
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 男性



### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

#### <精検未受診率>

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

## 【 目黒区 】 肺がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	特定の対象者のみ
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	69,701	83,357	153,058
【東京都調査による対象者率(区部)：65.5%】			
実際の受診者数	3,548	2,562	6,110

※<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	7.8%	4.7%	6.1%
要精検率	3%以下	3.2%	3.7%	3.4%
精検受診率	70%以上	79.1%	84.2%	81.4%
精検未把握率	10%以下	7.8%	8.4%	8.1%
精検未受診率	20%以下	13.0%	7.4%	10.5%
陽性反応適中度	1.3%以上	11.3%	6.3%	9.0%
がん発見率	0.03%以上	0.37%	0.23%	0.31%

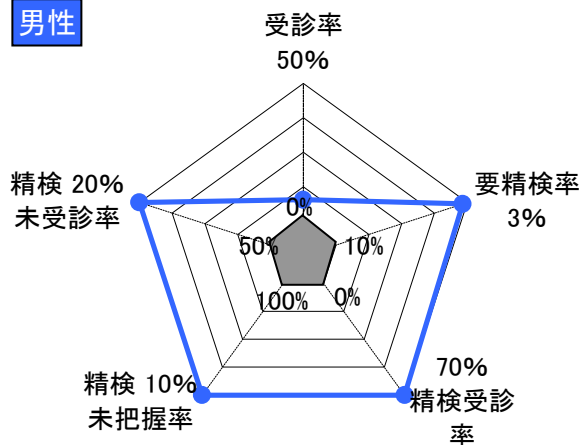
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

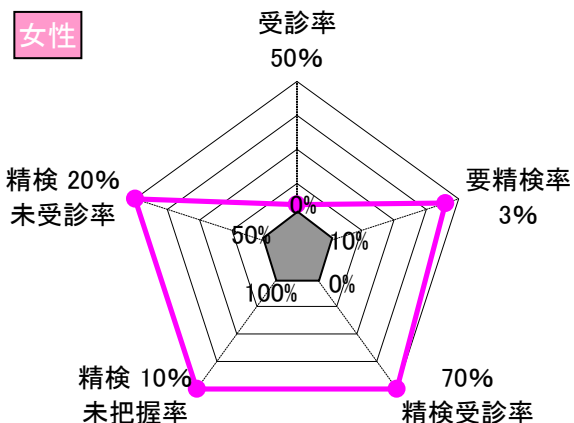
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## 【 目黒区 】 大腸がん検診 プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	69,701	83,357	153,058
【東京都調査による対象者率（区部）：62.3%】			
実際の受診者数	12,382	22,665	35,047

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	28.5%	43.6%	36.8%
要精検率	7%以下	9.5%	6.7%	7.7%
精検受診率	70%以上	46.0%	45.3%	45.6%
精検未把握率	10%以下	15.4%	13.8%	14.5%
精検未受診率	20%以下	38.6%	40.8%	39.9%
陽性反応適中度	1.9%以上	3.6%	2.3%	2.9%
がん発見率	0.13%以上	0.34%	0.15%	0.22%

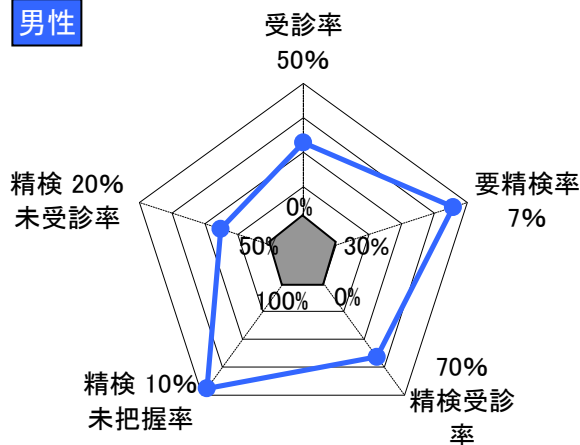
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

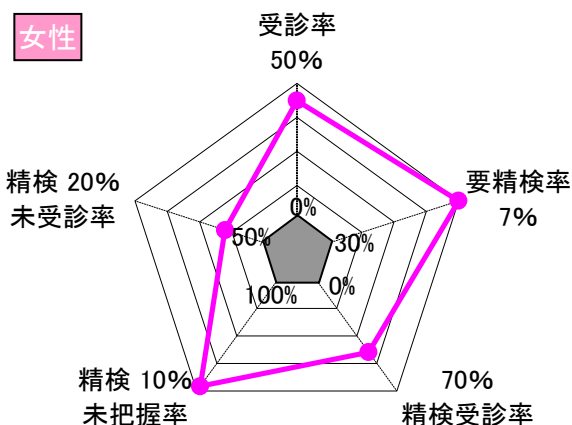
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

#### <精検未受診率>

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

## 【目黒区】子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		126,088	
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数		11,017	

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		26.5%	
要精検率	1.4%以下		2.4%	
精検受診率	70%以上		68.6%	
精検未把握率	10%以下		12.5%	
精検未受診率	20%以下		18.9%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.5%	
がん発見率	0.05%以上		0.04%	

#### プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 【評価結果】

##### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

##### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

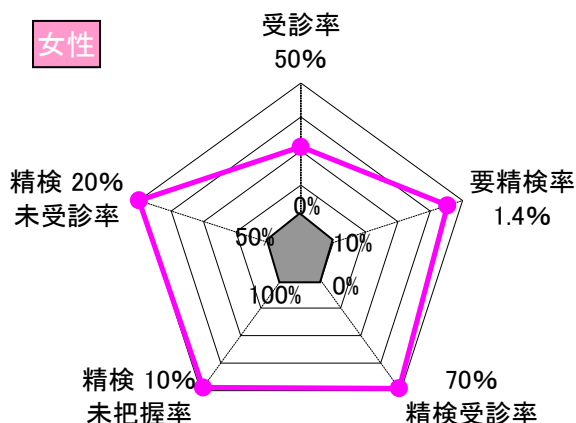
##### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

##### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

女性



## 【 目黒区 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		83,357	
【東京都調査による対象者率（区部）：66.3%】			
実際の受診者数		7,512	

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		28.0%	
要精検率	11%以下		7.2%	
精検受診率	80%以上		85.8%	
精検未把握率	10%以下		14.2%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		5.2%	
がん発見率	0.23%以上		0.37%	

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

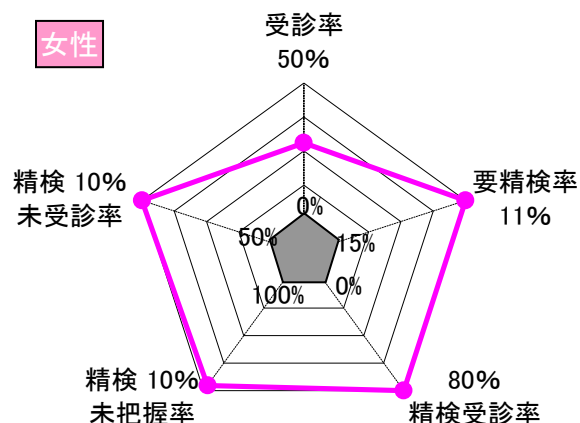
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 【評価結果】

#### <受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。



#### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。